

【第4次 岐阜県教育振興基本計画】

◆「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

- ・自立力(主体的に学び、考え、行動する力)
- ・共生力(つながり、認め合い、支え合う力)
- ・創造力(よりよい未来を築いていく力)

【校訓】

「一意力行」

～心を集中し、
皆の心を合わせ、
力を込めて行う～

【中津川市 教育の方針】

「よりよいひとりだち」

～生活・学習における基礎基本の
習得とたくましい子の育成～
・機能する組織
・面倒見のよい先生
・身につくまで

【生徒の実態】

- ・前向きで落ち着いた学校生活を送ることができる。
- ・授業に落ち着いて取り組み、仲間と交流をする中で、学力を高めていこうとする姿がある。
- ・他者との関係づくりを苦手とする生徒がみられ、不登校傾向の生徒も多い。
- ・自己肯定感や自己有用感が低い。
- ・学び方がわからなかったり、家庭での学習習慣に弱さがあつたりする。

【学校の教育目標】

自主 (自ら進んで行う生徒)
協力 (責任を果たす生徒)
創造 (鍛え合う生徒)

【職員の姿、指導姿勢】

- ・チームワークがある。どの職員も情熱があり、和を乱す投げやりな言動をとる職員はいない。
- ・組織で対応していこうとする意識が高く共通行動ができる。
- ・指導したことに対しては、見届けと評価を常に意識したい。
- ・温かさとしげさ、導くと委ねることのバランス感のある指導を高めたい。
- ・不登校生徒を何とかしたい思いが強い。

【学校経営の信念】 **生徒の可能性を広げ、引き出す学校を築く**

【学校経営の3つの施策】

- 1 基礎 基本(知識と技能)の確実な定着を図る丁寧な指導と授業改善を続け、生徒の『**学びに向かう力**』を高める。
- 2 生徒の願いや想いを捉え、正しい判断力と自己有用感を育む指導を続け、生徒の『**自己指導能力と自覚力**』を高める。
- 3 自他の立場と生命を尊重し、人権意識と思いやりの心を育てる指導を続け、生徒の『**つながり合う力**』を高める。

1 『学びに向かう力』を高めます

指標:授業でわからないところを聞ける 90%

指標:平日の家庭学習1時間以上の習慣化

◎(1)坂中授業スタンダードの定着

→聞き方、話し方の継続的な指導と評価

(2)生徒の実態を捉えた授業改善の推進

→ゴールを明確にしたねらいと課題

→「わかりたい、やりたい」を引き出す工夫

→わからないこと、できないことの表出

→生徒の見方や考え方の向上

(3)家庭学習の粘り強い指導と見届け

→学級担任と教科担任と連携した個々の家庭学習の見届け

2 『自己指導能力と自覚力』を高めます

指標:するとよいことを判断できている 80%

指標:生徒会主導による坂中ブランドの意識化

◎(1)正しい判断力を育む指導の位置付け

→指導の切り込み口をもち、生徒に自らの

言動を振りかえさせ、考えさせる指導

→指導後の見届けと評価の継続化

(2)学級活動の充実

→リーダー指導とフォロワー指導の意識

→呼応できる集団づくり

(3)生徒会活動の推進

→常時活動の充実による坂中ブランドづくり

→地域を担う意識と行動力の醸成

3 『つながり合う力』を高めます

指標:毎日学校が楽しい 90%

指標:年間90日以上の不登校生徒数の半減

◎(1)使命感と単独性を意識した不登校対応

→生徒の実態を把握した不登校対応

→積極的な働きかけとその改善

→個別支援体制の充実と教育相談力の向上

(2)特別支援教育の充実

→一人一人の教育的ニーズに応じた指導と

全職員による支援

(3)安全、安心な風土の醸成

→あいさつ活動、合唱活動の充実

→校内環境と言語環境の充実

【基盤となる学校の構え】

□生徒の願いや想いを捉え、生徒指導体制の充実に努める

→「初動対応が遅い、見届けが甘い、継続性が弱い」指導から脱却する。心の調査や生活ノートを活用した生徒の状況把握に努める。

□生徒や保護者の願いや想いを捉え、教育相談体制の充実に努める。

→生徒や保護者からの「不安」を置き去りにし『不満、不信』の想いをもちこたせない。生徒や保護者の不安をキャッチし、迅速かつ組織的に対応する。

□危機管理を意識し、安心、安全な環境整備に努める。

→優先順位は「安心・安全→人権→学力」という意識をもち、まずは安心・安全に生活できる環境を保持する。職員の情報連携、行動連携を進める。

□コミュニティ・スクールを意識した地域とともにある学校づくりに努める。

→地域の応援団としての学校運営協議会などとの連携を強化する。地域の方に学校を支えていただくとともに、地域活動への生徒参画も考える。

《坂本中が目指す教師》→[チームワーク、ネットワーク、フットワーク、ハートワークのある職員集団]

【活気】『チーム坂中、全職員で!』

☆情報の共有と共通行動

☆校務分掌の自覚と責任

☆学び合い、鍛え合える職員集団づくり

【和気】『相手意識、心に届くまで』

☆共感的な教育相談姿勢

☆研ぎ澄まされた人権感覚

☆「くれた貯金」の推進

【覇気】『確かな指導、身につくまで』

☆定着の見届けと再指導

☆生徒につく、師弟同行

☆家庭や地域、関係機関との連携